



山田こうじです！

京都市長選挙「市民が政治を作っていく」流れ広がる！



2日投票の京都市長選挙。幅広い市民と団体が参加した「つなぐ京都2020」の福山和人候補が大奮闘し期待が広がりましたが、残念ながら及びませんでした。

京都市の予算の1%で出来る「暮らし応援すぐやるパッケージ」が大きな反響を呼び対話も弾み期待が広がりました。

福山候補は、選挙期間中も市民から寄せられる様々な声でマンユフェストを発展させ、文字通り、「市民との共同の選挙」となりました。

投票率も20年ぶりに40%を上回りましたが、なお6割近い有権者が棄権したことは残念です。

京都新聞の出口調査では無党派層の投票先では福山候補が最も多く、現職市長の1.5倍の支持を得ました。

年齢別では18、19歳では5割近くを占め、30代の子育て世代でも福山候補がトップとなり、未来につながる選挙となりました。

現職市長を推薦した立憲民主党の支持者の45.4%の支持を獲得しました。

「国政で激突する与野党が門川推薦で共闘したこと、疑問を感じた有権者は少なくない」（京都新聞社説）

「対決した福山、村山両氏には有効投票の約半数が投じられた」と批判票真摯に直視を」と報じられています。

未来につながる選挙！

多様な広がり 新しい闘いの始まり！

今回の選挙は、国政政党では日本共産党に加え、れいわ新選組が推薦し、新社会党京都府本部・緑の党京都府本部が支持し、広い市民と共に闘う選挙となりました。

ツイッターやラインなどのSNS



第177回 暮らしのなんでも相談会

暮らしにかかわるどんなことでも…
金融・債務の整理・相続・税金・労働・医療・健康保険料の支払い・地域要望等、どんなことでも結構です。

2月15日(土) 午後1時半~3時

会場 安井後援会事務所(安井小学校前)
主催 日本共産党市会議員 山田こうじ事務所
佐々木 義人 801-9379

街頭演説会

街頭宣伝を重視し、西院ターミナルでは、初めての試みである「街頭タウンミーティング」にも取り組みましたが、あいこの強風と雨の為、予定時間を短縮せざるを得なかったのは残念でしたが、「原発問題」や「在日外国人」の政治参加や権利の問題など質問が出されました。

選挙結果が明らかとなった月曜日の京都新聞では、「対決した福山、村山両氏には有効投票の約半数が投じられた」と批判票真摯に直視を」と報じられています。

選挙戦で訴えた「暮らし応援すぐやるパッケージ」への市民の期待の声も紹介し、2月予算市会の論戦で市長に迫る決意です。

まごとおおき
山田こうじです！
No.223

2月1日の京都新聞5面に「演説会 専門家が分析」というフェルドマン同志社大学区教授の記事が載っていました。

「門川さんの9分間の演説で拍手は4回。少なかつたね。聴衆は背広姿の男性が多く、硬いイメージ。大学の講義のようでした。それから共産党批判が3回。びっくりしました」と分析。

一方福山候補の演説会は「15分で拍手19回、笑い声は7回、声援も2回出た。聴衆は老若男女、子どももいて家庭的でした。演説も京都弁で親しみやすい」と評価されていました。

演説会の分析とは別に、「自分の力で政治を動かせる」という『有効感覚』が弱いこと。高校までの政治教育が足りない」と指摘されていました。

「与野党相乗りは、私も理解できません」とも。

